

水・緑・歴史の豊かさを、
みんなの力で未来に伝えるまち・流山

(「流山市環境基本計画」より)

発行/流山市
編集/秘書広報課

〒270-0192 千葉県流山市平和台1-1-1 / 流山市のホームページアドレス
☎04-7158-1111 (代表) / <http://www.city.nagareyama.chiba.jp/>

市民団体や企業、大学などが連携

「環境シンポジウム流山」や「まちネットフォーラム」など



初の環境白書を公表

地球温暖化対策をさらに推進

市では、初の「流山市環境白書」をまとめました。政令指定都市を除いて県内では、初めて「地球温暖化対策地域推進計画」を検証するなど充実した内容となっています。この環境白書は、

今後、毎年公表し、環境施策の進捗状況などを常に公開していくというものです。今号では、環境白書の概要をはじめ地球温暖化対策の内容、環境ハイライトなどを紹介します。

環境白書18年版を刊行

市では「流山市環境白書(平成18年版)」をまとめました。

同白書は、市の環境施策の推進状況や環境の現状を総合的にまとめた年次報告書として

の性格を持っています。基本的には、同白書を作成することによって、一昨年7月に策定しました環境基本計画に基づく環境行動計画の点検・評価を行い、さまざまな環境施策を着実に進行させることを目的にしています。



2月3日、リサイクルプラザ・プラザ館で、商工会大橋会長や京和ガス(株)筒井常務取締役を囲んで、環境問題などについて活発な意見交換が行われました

地球温暖化対策への取り組み

市では、環境保全に

関する基本理念や指針を定めた「流山市環境基本条例」を平成13年に制定し、その具現化に向けた環境保全に関する施策を総合的、かつ計画的に推進するための「流山市環境基本計画」を平成17年7月に策定しました。

さらに、環境基本計画を実効性のあるものにするため、環境施策を具体化するための「流山市環境行動計画」を平成18年3月に策定しました。

この計画の中では、環境施策について目標を定めることはもとより、実施する具体的な内容と担当部局を明らかにするとともに、目標を達成するための進行

管理の方法も定めています。

一方、地球温暖化問題の解決が世界的課題となっている中で、市の事務・事業から排出される温室効果ガスの排出抑制を目的として、「流山市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

さらに、市域全体の温室効果ガスの排出抑制を図るため、市民や事業者が取るべき行動について定めた「流山市地球温暖化対策地域推進計画」を合わせて策定しました。

「流山市環境基本計画」や「流山市環境行動計画」などの計画の進行管理はPDCAサイクル(2/3面別図参照)により行い、計画に示された施策の実施と見直しを進めていきます。つまり、環境施策を具体化し、まず、その施策等の実施状況の点検、評価を行います。その結果を踏まえて、次年度実施する事業内容を加えて公表します。これによって計画の進捗状況を明らかにすることができるようになります。市民の皆さんや事業者の皆さんと情報の共有を図ることが可能になり、計画に沿った各種施策がより一層推進されることとなります。

活発な市民との協働

市制施行40周年記念「環境シンポジウム流山」が昨年12月3日、リサイクルプラザ・プラザ館とほっとプラザ下花輪を会場に行われ、市民団体や事業所、大学などが参加し、環境について話し合い

ました。写真。同実行委員会(新保國弘委員長)が主催したもので「オオタカとともに暮らす里山のまち・流山」をテーマに、講演会や

自然観察会、ガレージセール、低公害車の展示などが行われ多くの参加者で賑わいました。また、2月3日には、第5回まちネットフォー

ラム「市内企業との接点を見つけよう!」がまちネット流山(伊勢良一理事長)の主催で、リサイクルプラザ・プラザ館を会場に開

催され、商工会や省エネに取り組みエコアクション21の認証登録に挑戦している京和ガス(株)と市民団体との活発な意見交換が行われました。市内では

いま、リサイクルプラザ・プラザ館を活動拠点にこうした市民団体による環境シンポジウムやフォーラムが数多く開催され、市民と行政との協働が進められています。



環境省の地域の熱環境改善構想の適用第1号を受け、学生や市民がボランティアで現地調査を展開

流山市民の心映えと環境のチェーンで オオタカの舞うまちづくり

江戸川大学社会学部ライフデザイン学科 教授 恵 小百合さん

流山の環境の価値をつくり評価するのは、流山市民であると同時に相対的に流山を見つめる多様な主体である。流山を観る眼は、他にも、アリの眼、トリの眼、イルカの眼、未来世代の眼等である。よい土壌があり元気な微生物が分解者として活躍しているか。地球規模で移動する渡り鳥たちにとって、上空から見える流山の森や緑地、



恵教授

新川耕地や水辺に降り立とうと思えるか。流山市民の流した水が東京湾から流れ出ていくさきの海洋を往き来するイルカが、流山市民は自分の家も水源地であることを理解しているか。自然や子孫たちが今の流山市民の環境づくりに感謝するかどうから流山の「環境価値」がはかられる。1964年鎌倉鶴岡八幡宮の裏山1・5ヘクタールをマンション開発業者から市民の寄付1500万円で買い取り緑地保全が始まった。



春にはからし菜が咲き黄色一色になる江戸川堤

鎌倉市民が自然豊かな緑を背景とする歴史景観を守った事をきっかけとし「古都保存法」

が制定された。作家の大佛次郎氏がこの運動の理由を「過去に対する未練や郷愁からではなく、未来の子どものちの美意識と品位のため」と答えた。

今の環境を原風景として育つ未来の子どもたちのために流山グリーンチェーン戦略が展開されている。もともと

と環境価値の高い流山には、歴史もあり屋敷林やガーデンング等による見事なまちの景観と自然環境が保たれている。つくばエクスプレスの開通により作られる新市街地が市野谷の森等の再生型まちづくりとなり緑の連鎖が約束されている。江戸川大学でも自然再生型市

井崎市長からのメッセージ



みんなが健康にごせる環境都市流山をめざして

このたび、流山市では地球温暖化防止対策を含めた環境の状況を公表いたしました。また、市制施行40周年を契機に、健康都市宣言をいたしました。この宣言の中で、市民が健康で楽しく、いきいきと暮らすことができれば、流山の豊かな自然環境を大切に、共生できるようなことや、多くの市民の連携と参加のもと、人

地球温暖化の防止を

市民、事業所、行政で力を合わせて

地球温暖化対策実行計画

地球温暖化対策実行計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて、市役所庁舎などから排出さ

なごは、可能な範囲での協力を要請していくこととしています。



加していただくことで、地球温暖化防止のための取り組みを推進します。

取り組み促進のための施策
地球温暖化の防止には、市民や事業者の皆さんの積極的な取り組みが必要です。そのため、環境白書の公表な

さらに、本市の豊かな緑をより価値あるものとするための「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、温室効果ガスの吸収源対策を進めます。

東 京 医 科 歯 科 大 学 の 中 村 桂 子 先 生 が、 都 市 の 中 の 「 緑 」 の 健 康 増 進 効 果 に つ い て、 疫 学 的 な 調 査 を さ れ て い ま す。 この 調 査 で は、 東 京 都 内 に 住 む お 年 寄 り 3 1 4 4 人 に つ い て ア ン ケ ー ト 調 査 を し、「 緑 が 身 近 に あ る 」 と い う 方 と そ う で な い 方 を 比 較 し て い ま す。 その 結 果、 緑 が 身 近 に あ る 方 の ほ う が 5 年 後 も 元 気 で い る 確 率 が 平 均 で 1 3 倍 も 高 い こ と が 明 ら か に な っ て い る の で す。 つ ま り、 この 調 査 結 果 は、 緑 を 身 近 に し



家族連れで賑わう総合運動公園

▽日時 2月15日(木) 山から見た自然環境

手賀沼浄化ポスター展

15日からリサイクルプラザで

17年 行計画につい 度の温室効果 証しました。 域推進計画に 市域全体から 出状況を検

務・事業関連」②ごみ の焼却など廃棄物の処 理に伴うものとして 「ごみ処理施設関連」 ③水道事業に伴うもの として「水道施設関連」 の3つの目標を設定し ました。

庁舎等からの温室効 果ガス非排出量の状況

地球温暖化対策実行 計画は、「地球温暖化 対策の推進に関する法 律」に基づいて、市役 所庁舎などから排出さ

れる温室効果ガスの排出抑制を目的としています。

市役所が直接管理している施設を対象としているので、市庁舎はもとより、図書館や公民館、クリーンセンター、市立小・中学校などの施設について、温室効果ガス排出量の現状を把握するとともに、排出抑制のための取り組みを進めています。

社会福祉協議会のように別法人である場合など委託等により他者が管理している施設

平成17年度の市庁舎等の全ての事務および事業からの温室効果ガス排出量は、2万5619トンであり、基準年度である平成16年度よりも削減することができました。特に、灯油の使用に伴う排出量が約1000トンの削減となっています。

地球温暖化対策実行計画では、温室効果ガスの排出特性を踏まえて、①市庁舎等いわゆるオフィス活動に伴うものとして「市役所事

削減目標を設定した区分ごとの排出量の状況は、市役所事務事業関連が基準年度に対して約6%増加し5314トンとなったほかは、ごみ処理施設関連では約6%削減の1万7954トンとなり、水道施設関連では基準年度と同程度の2350トンになりました。

なお、「市役所事務事業関連」の増加の要因としては、社会福祉施設等の利用者の増加が考えられました。

地球温暖化対策地域推進計画では、市民一人当たりの温室効果ガス排出量を基準年度（平成15年度）に対して6%以上削減することを目標としています。

平成16年度の市民一人当たりの温室効果ガス排出量は、3.92トンと基準年度に対して0.1%の削減を達成しています。本市の温室効果ガス排出量は民生部門と運輸部門が多くを占めており、温室効果ガス排出量を削減し目標を達成するためには、市民の皆さんの日常生活や事業活動中の温室効果ガス排出抑制対策が大きな役割を占めることとなります。

ことから、事業者の環境マネジメントシステムの導入に対して支援してまいります。

市民の皆さんの取り組み

市民の皆さんが日常生活の中で、省エネルギーを進めることによつて、本市の温室効果ガス排出量は削減されることとなります。

日常の中での取り組みを促進するため、本年度は環境家計簿を作成する予定です。

環境家計簿の利用に、より多くの方に参

地球温暖化防止講演会

▽日時 2月12日(振) 13時~16時 場所 行徳文化ホールI&I (市川市) ▽内容 田部井淳子(登山家)「世界の山々をめざして」

環境審議会を開催

▽日時 2月14日(水) 15時30分~16時 場所 市役所4階委員会室 ▽内容 環境家計簿について、路上喫煙防止について(傍聴可)

〒環境保全課 ☎7150-6083

利根運河の歴史と自然

▽日時 2月17日(土) 13時30分~16時30分 場所 森の図書館 ▽内容 野草調査結果等 ▽資料代 300円(高校生以下無料)

圃利根運河の生態系を守る会・新保 ☎7154-6746

と環境にやさしい健康な街とすることなど、環境とのかかわりを重視して施策を進めていく方向を目指しています。

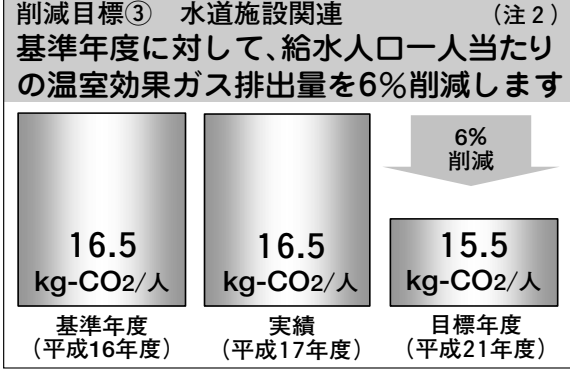
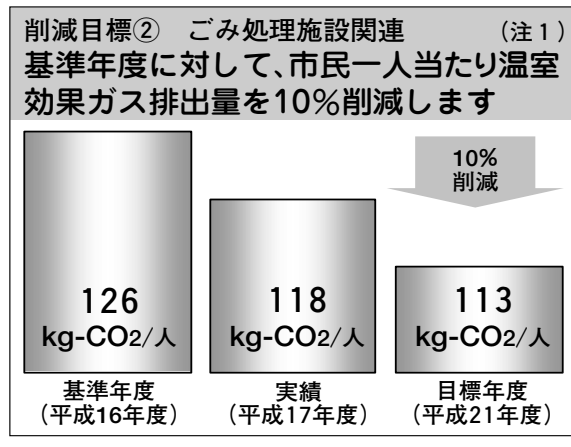
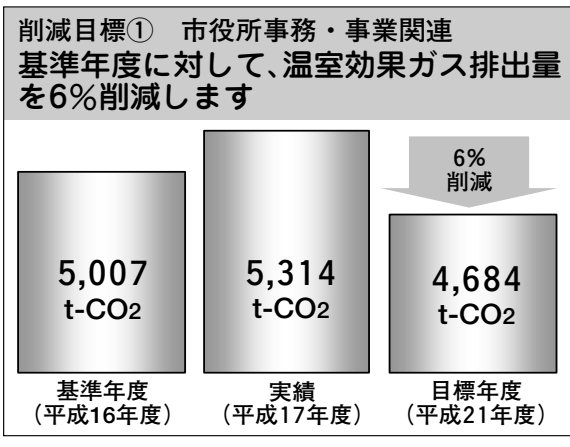
一方、つくばエクスプレスの開通により、流山市内においてその沿線を中心とした開発が加速されています。

その中で、市野谷の森や緑豊かな市総合運動公園など、新線沿線の大規模な緑の拠点を守り活かしながら、開発で失われる緑を回復する仕組みとして流山グリーンチェーン認定制度を立ち上げました。

この制度により、ヒートアイランド現象を抑制する緑化による森の街づくりとして、全国

「捨てればゴミでも、リサイクルすれば自治会運営費の一部となつて、防災やシニアお楽しみ会などに役立てられる」と独自に発行しているパンフレットにリサイクルの目を強調するなど会員に協力を呼び掛けている。

「海外赴任をはじめ全国各地へ転勤し、さまざまな街で生活したが流山が一番いい。きれいな街には笑顔が生まれます。ご近所と笑顔で暮らすためには街をきれいにすることから始めましょう」とさまざまな環境保全活動の大切さを語ってくれた。



“地球にやさしいこと”しています。
~温室効果ガス(CO2)の削減~

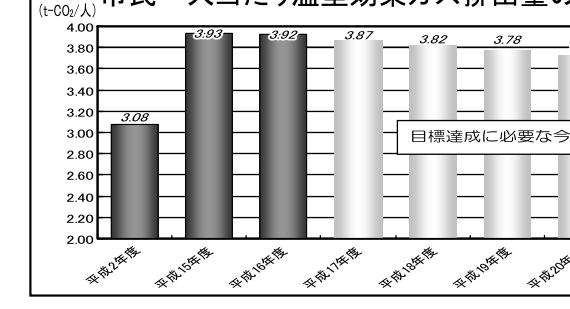
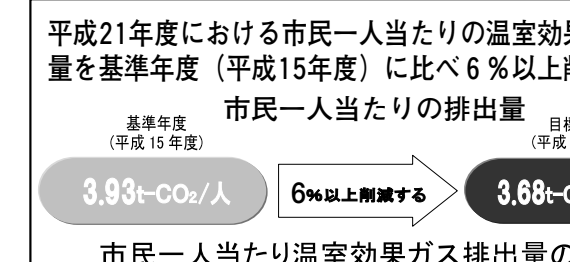
流山市では地球温暖化対策を積極的に進めています。平成18年3月に市役所自らが取り組む「ストップ温暖化!市役所アクションプログラム」を、市民、事業者の方が取り組む「ストップ温暖化!ながれやま計画」を策定しました。

目標 平成21年度
庁舎から排出される温室効果ガス排出量6%削減
市民1人当たりの温室効果ガス排出量6%削減

市役所をはじめ、各公共施設において、次のような取り組みをしています。
☆昼休み中、業務を行っていない箇所の消灯
☆夏の室温28度、冬の室温20度の過温断行
☆水は出しっぱなしにしない
☆アイドリングストップの実施
☆資源物の分別収集推進

皆さまのご理解とご協力をお願いします。
〒環境保全課 ☎7150-6083 / 管財課 ☎7150-6069

地球温暖化対策を促進し、温室効果ガス排出量を削減するためには、事業者が通常の事業活動においても省エネルギー等の取り組みを積極的に進めることが必要です。そのためには、環境マネジメントシステムの導入が非常に有効な手段となる



田口副会長

平和台自治会(宮尾博会長・723世帯)の環境衛生福祉部会長のを経て同部会担当の副会長と、自治会活動では環境一筋に6年目を迎える。

リサイクル団体代表者会議や廃棄物減量等推進員会議、環境美化推進員会議など行政関係

リサイクルで自治会から環境保全

平和台自治会 田口重郎さん

関係の会議への参加も少なくない。春・秋のゴミゼロ作戦への参加や地区花壇の植栽などを行う一方、資源物のリサイクル活動を実施することで自治会運営費の一部として活用している。

毎月発行している自治会報に大きくリサイクルの標語を掲載しているのをはじめ、ごみ分別の徹底を会員にお願いするなど啓発にも力を入れている。

「捨てればゴミでも、リサイクルすれば自治会運営費の一部となつて、防災やシニアお楽しみ会などに役立てられる」と独自に発行しているパンフレットにリサイクルの目を強調するなど会員に協力を呼び掛けている。

「海外赴任をはじめ全国各地へ転勤し、さまざまな街で生活したが流山が一番いい。きれいな街には笑顔が生まれます。ご近所と笑顔で暮らすためには街をきれいにすることから始めましょう」とさまざまな環境保全活動の大切さを語ってくれた。

まことに、私たちの目指す緑化による森の街づくりを進めることにより、健康都市の実現に近付くことができるのです。そのためにも、グリーンチェーン戦略をはじめとする環境政策を、市民や事業者の皆さまと一緒に考え、進めていくことが重要と考えています。流山市では、これからも流山市環境白書などにより、市民、事業者の皆さまに環境保全に関する情報を積極的に提供しながら、「人と環境にやさしい森の街」を目指します。

と環境にやさしい健康な街とすることなど、環境とのかかわりを重視して施策を進めていく方向を目指しています。

一方、つくばエクスプレスの開通により、流山市内においてその沿線を中心とした開発が加速されています。

その中で、市野谷の森や緑豊かな市総合運動公園など、新線沿線の大規模な緑の拠点を守り活かしながら、開発で失われる緑を回復する仕組みとして流山グリーンチェーン認定制度を立ち上げました。

この制度により、ヒートアイランド現象を抑制する緑化による森の街づくりとして、全国

と環境にやさしい健康な街とすることなど、環境とのかかわりを重視して施策を進めていく方向を目指しています。

一方、つくばエクスプレスの開通により、流山市内においてその沿線を中心とした開発が加速されています。

その中で、市野谷の森や緑豊かな市総合運動公園など、新線沿線の大規模な緑の拠点を守り活かしながら、開発で失われる緑を回復する仕組みとして流山グリーンチェーン認定制度を立ち上げました。

この制度により、ヒートアイランド現象を抑制する緑化による森の街づくりとして、全国

地球温暖化対策地域推進計画

環境行動計画について、17年度の行動内容を検証し、18年度の行動計画を策定しました。17年度の地球温暖化対策地としての排出状況は、16年度の地球温暖化対策地としての温室効果ガスの排出量を削減しました。

豊かな環境を未来へ

いま、できることを着実に

環境ハイライト

市の環境基本計画の目標将来像「水・緑・歴史の豊かさを、みんなの力で未来に伝えるまち・流山」を目指して、昨年度、市が取り組んだ主なものをご紹介します。平成17年度は、環境基本計画をはじめ環境関連の5計画を策定するとともに、みどりの街づくりを進めるためのグリーンチェーン戦略を推進するなど、本市の良好な環境を形成するための基礎となる取り組みが行われました。

流山市環境基本計画を策定

流山市環境基本条例に基づいて、市の環境をより良い状態で将来の世代に引き継いでいくことを目指した計画です。本市の環境に関する



して、最も基本となる計画。内容としては、望ましい環境像である「水・緑・歴史の豊かさを、みんなの力で未来に伝えるまち・流山」を実現するための「市」の取り組みはもとより、「市民」や「事業者」の皆さんの取り組みを定めました。

第1期流山市環境行動計画を策定

流山市環境基本計画の望ましい環境像を



現するために、計画を具体的にどのように進めていくのかを示したのが「環境行動計画」です。この計画書には、世界的に重要な環境課題のひとつである地球温暖化を防止するための市役所職員が実践する「地球温暖化対策実行計画」と、市民・事業者の皆さんが実践する「地球温暖化対策地域推進計画」が含まれています。

生活排水対策推進計画を策定

平成17年度末現在で下水道普及率が61%を超えるなど生活排水対策は着実に進んでいますが、さらに市内の河川など水質保全を図る必要があります。その

ため、第2期の計画をつくり、「豊かで清らかな水に親しめるまち・流山」を目指して、下水道の整備促進や雨水の地下浸透など水環境の維持・復活などの取り組みを今まで以上に進めます。



ホタルの幼虫を放流

路上喫煙とポイ捨てを防止

市では、従来から「ごみ」や「たばこ」などのポイ捨てを防止するため、啓発活動を実施し、マナーの向上を図ってきました。しかし、たばこなどのポイ捨ての防止をさらに進めることについて、



駅前での早朝キャンペーン

市民の皆さんの強い要望もあったことから、今回条例を改正し、市内全域での路上喫煙を禁止（携帯灰皿



ビオトープづくりに汗を流す常盤松中学校生徒の皆さん

の使用等を除く）、南流山駅と江戸川台駅周辺の重点区域での路上喫煙、ごみのポイ捨ての違反者に対して指導・勧告、それに従わない場合は過料の徴収など。

豊かな心を育む学校ビオトープを整備

児童・生徒たちの豊かな心と健やかな体を育むために、学



グリーンチェーン戦略で豊かな環境を

校ビオトープの整備を進めています。整備には、トンボがすむもの、ホタルが舞うもの、水生生物を観察できるものなど子どもたちの思いがこめられています。整備にあたっては地域のみなさんご協力をいただきました。

尿処理施設の再整備の答申

老朽化が進んでいる尿処理施設を今後ど

豊かで価値の高い緑を生み出す「流山グリーンチェーン戦略」

つくばエクスプレス開業に伴う沿線開発により、一時的に減少する緑を、豊かで価値ある緑として回復するとともに、ヒートアイランド現象を抑制した街づくりを進めるために

のように整備すれば良いか、「流山市廃棄物対策審議会」で審議を進めてきました。その結果、循環型社会への転換を進める施設として、「し尿および浄化槽汚泥処理と、剪定枝のチップ化等による再利用方法を図るための機能を有する汚泥再生処理センター」とすることが適当」との答申をいただきました。

TXを中心とした公共交通を整備

自動車の利用を減らし、環境的に持続可能な



流山おおたかの森駅で

「流山グリーンチェーン戦略」を定め、推進しています。

具体的には、つくばエクスプレス沿線整備4地区を対象にグリーンマークの表示を認める「流山市グリーンチェーン認定」を導入して緑豊かな環境と美しい景観を有する街の実現を目指します。

な交通（EST）を実現するため、柏市とともにバス路線の再編、コミュニティバスの実証実験、駅前広場整備、自転車駐輪場整備などを行いました。つくばエクスプレスの開業後、柏市と流山市両市の駅利用者数が約1・7%増えて、2950トンあまりの温室効果ガスを減らすことができました。



グリーンバスを整備

流山市緑の基本計画を策定

市内の緑を守り育て、良好な生活環境を形成するためには市をあげて取り組むことが必要です。「緑の風につつまれるふるさと・流山」の実現を目指して、都市公園の整備や緑化の推進など都心か



親しまれる野々下水辺公園

ら一番近い森の街となるようさまざまな取り組みを進めます。

流山市都市景観形成基本計画を策定

つくばエクスプレス沿線では鉄道を活かしたまちづくりが進められています。新しい街並みやこれまでの歴史ある街並みなど、良いものを残し、新たな景観を育むことがこれまでに求められている中で「流山景観まちづくり百年の計」をテーマに「引き継ぐ」「魅



力を高める」「気を配る」の基本理念に基づき計画を策定しました。



整備が進む利根運河は憩いの場

150-6083
7
環境保全課